

# カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2013. 5-1号)

香川県水産試験場 益井

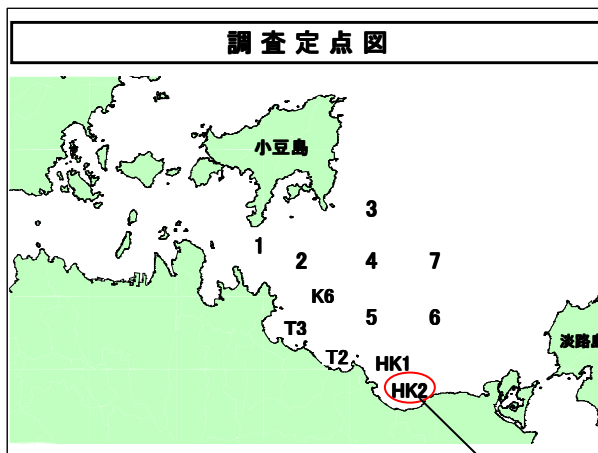
TEL: 087-843-6511

## 調査方法

調査日: 2013年5月2日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+臨時調査1定点  
(調査定点図参照)



臨時調査点

## 【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK1	HK2	T2	T3	K6	11点平均値
2011.5.9	0	103	42	6	96	3	2	6	-	5	8	103	34.0
2012.5.2	2	2	0	0	2	0	0	0	-	0	0	2	0.7
2013.5.2	0	0	0	23	1	25	56	0	3	10	0	1	9.9

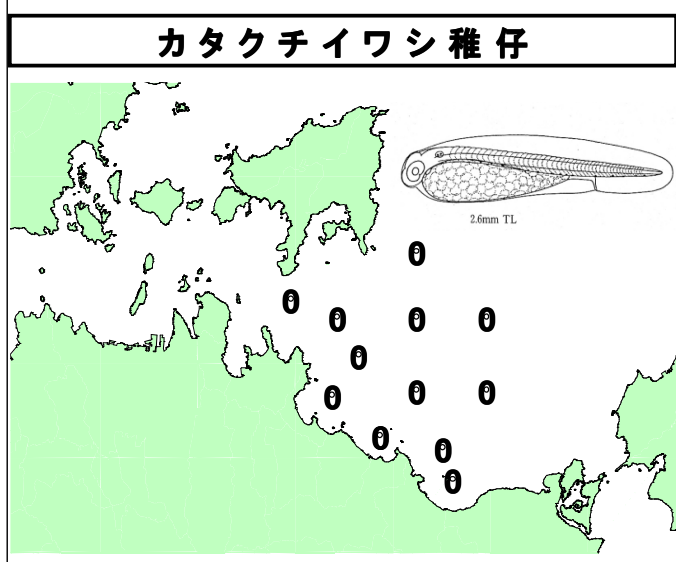
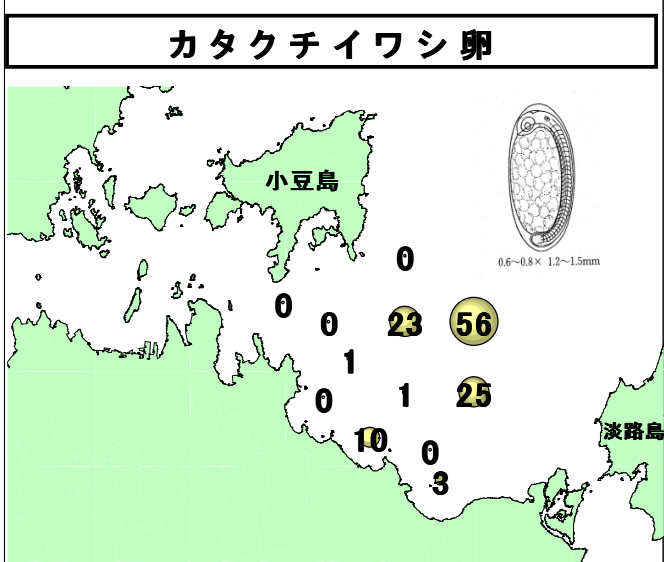
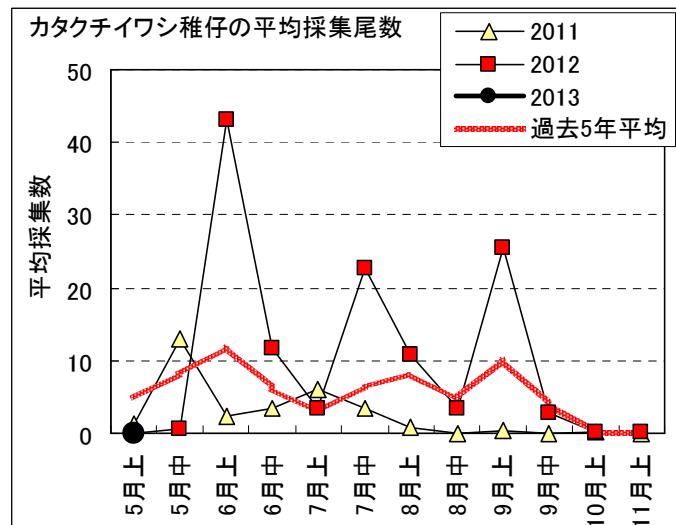
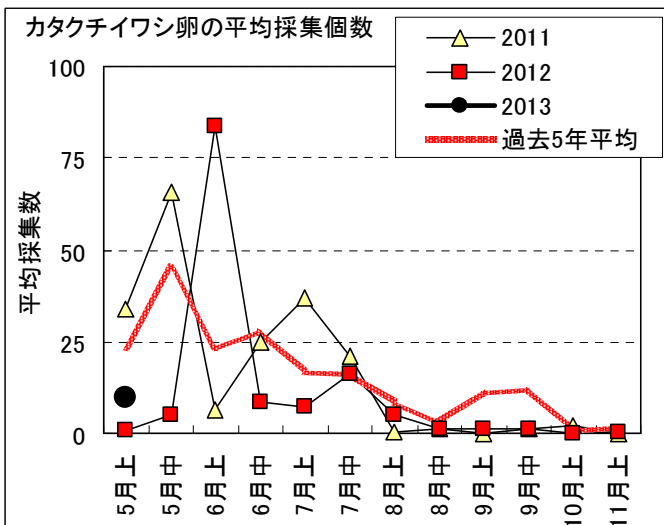
## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK1	HK2	T2	T3	K6	11点平均値
2011.5.9	0	2	0	4	3	0	0	2	-	0	0	3	1.3
2012.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0.0
2013.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

\* 表中の「-」は未測定を表す。

\* 11点平均値: 臨時調査点を除く播磨灘11定点の平均値を表す。

\* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



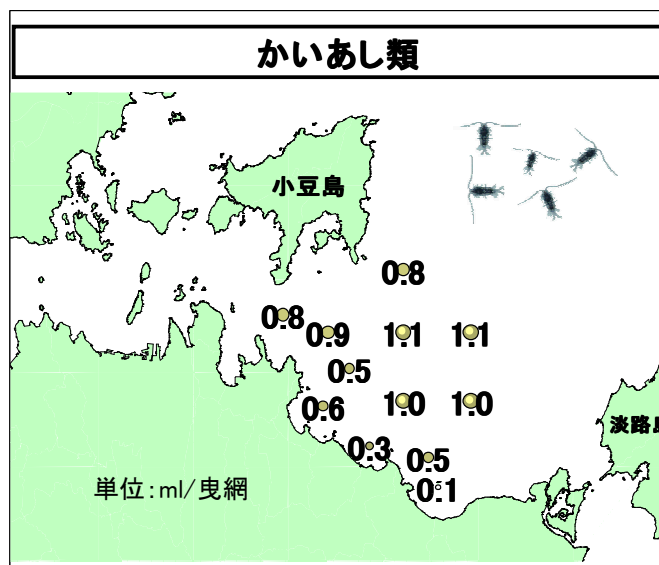
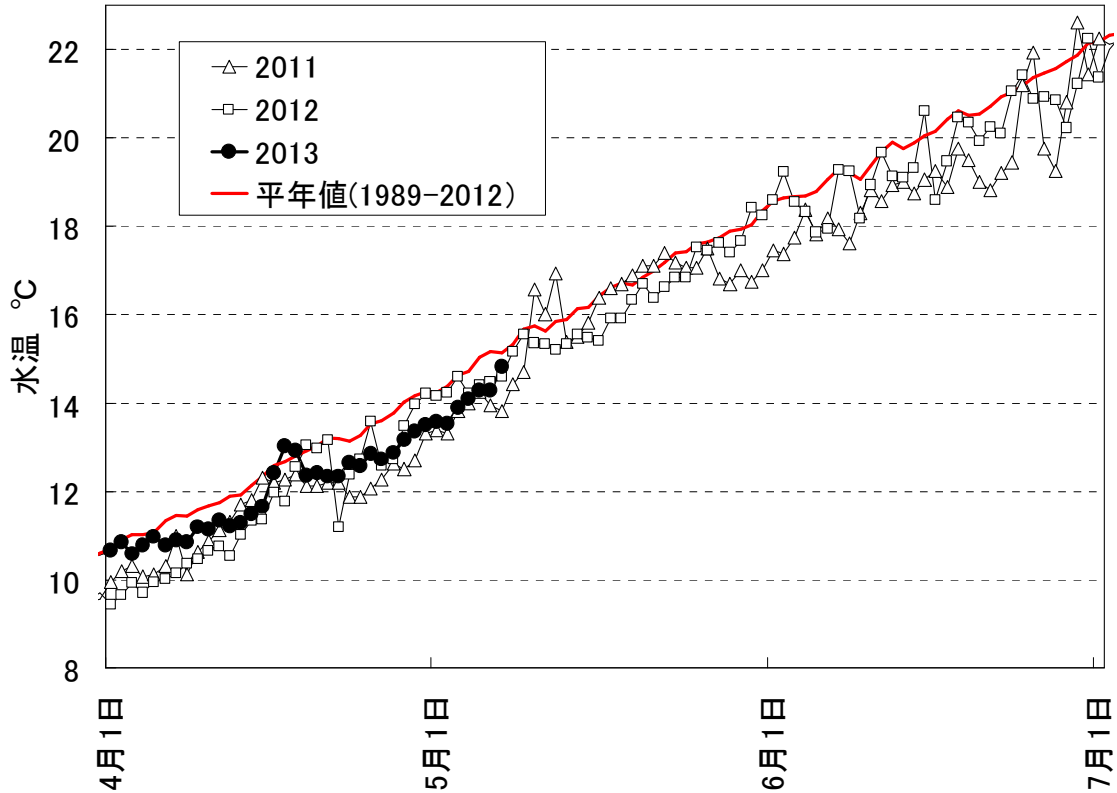
播磨灘11定点における卵の平均出現数は約10個で、前年を上回ったものの、平年(直近5年平均)を下回りました。卵は沖合の調査点(4, 6, 7)で多く見られました。一方、稚仔は前年と同様に採集されませんでした(平年値は7尾)。

引田沖の水温は、4月以降「平年並み」から「やや低め」で推移しています。

播磨灘沖のプランクトンはノクチルカ(夜光虫)が優占しており、餌料生物として重要なカイアシ類は少ない状況です。

【参考】

引田沖水温バイデータ(午前9時, 1.5m層)



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。  
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は、5月16日に実施予定です。